

新年のごあいさつ

美波町長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は町行政に格段のご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。

昨年は、世相を表す漢字「変」に代表されるように、国内外を問わず変化の激しい年でありました。本町におきましても、記録的な集中豪雨に三回も見まわれ、民家や農地・河川・道路など公共施設への被災が相次ぎました。幸い生命にかかわるようなことはございませんでした。幸い生命にかかわるようなこととはございませんでしたが、家屋の倒壊や床上・床下浸水等による被災がかなりございました。被災されました方々にはあらためてお見舞い申し上げる次第です。現在、関係行政機関と協議をしながら復旧工事を進めております。

さて、今日は日本は政治的にも経済的にも不安定な状況にあります。特に昨年来米国から全世界を襲った未曾有の金融危機は、国内企業の業績悪化と相まって深刻な雇用問題へと発展し、国民の安全安心が損なわれるなど、政治的課題にもなっています。

このことは、町の行財政にもさまざまな影響を与えます。企業の業績悪化は税収が減少することとなり、税収不足は交付税の原資を大きく引き下げることに なります。

本町の財政は、事業の厳選や職員数の削減等改革に努めた結果、主要な財政指標は現在のところ健全性を保っています。歳入の大半を地方交付税に依存する財政構造上、不安定さは否めません。このことから、今後の行財政の運営に当たっては、より一層慎重に努めていかななくてはならないと、決意を新たにしているところでございます。

本年は、平成十九年度から海部郡三町で推進してまいりました地域情報化推進事業が完成いたします。光ファイバーによる超高速ネットワークの整備により、行政情報の提供をはじめインターネットや地上デジタル

ル化への対応もできることとなります。また、日和佐小学校の改築工事と災害時の飲料水を確保する飲料水兼用耐震性貯水槽(最大六、六〇〇人・三日分)の建設にも着工致します。耐震性が備わった校舎の完成により、児童の安全や学習環境が向上することは勿論、避難住民や避難施設への給水が確保されることとなります。平成二十一年度内の完成を目指して工事を進進いたしますので、周辺地域の方々には何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、平成二十一年度末で、昭和四十四年の過疎地域対策緊急措置法制以来四十年間続いていた「過疎法」の期限切れを迎えます。都市と地方の較差はまだまだ大きく、現行過疎法に続く新過疎法は是非とも必要でありますので、県内関係市町村と協調して新過疎法制定に向けて積極的に取り組んでまいり所存であります。道州制や定住自立圏構想など、新たな国の制度や仕組みの動きもございます。思いを将来に馳せ、町民の皆様様の幸せな生活を実現するため、きめ細やかな町づくりに推進してまいりたいと考えています。

さて、新年を迎え明るい話題が二つございます。一つは、徳島駅伝で海部郡が総合三位の成績をおさめたことであります。これは四十六年ぶりの快挙でありまして、本町からは監督をはじめ十二名の選手が出場し活躍されました。本当におめでとうございます。

二つ目は、美波町を舞台としたNHKの朝の連続テレビ小説「ウエルかめ」が本年九月より放映されることに決定致しました。ドラマの制作に町民の皆様と共に全面的に協力致しますとともに、豊かな自然やお接待の心など美波町の魅力も全国に発信したいと考えていますのでお力添えを賜りたいと存じます。

本年が町民の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心から祈念いたしまして年頭のご挨拶いたします。